

# 令和5年度 丹波市立中央小学校 学校経営方針

学校教育目標 『人とのつながりを活かし、自ら可能性を広げる児童の育成』  
～ 自律 × 創造 × つながり力 ～

## めざす児童像

- ◆自律する子  
自分で考え、判断・自己決定し、行動できる子
- ◆創造する子  
自分なりの考えをもとに、新しい考えを創り出す子
- ◆つながれる子  
互いの良さを認め合い、関わりの中で学べる子

## 三つの柱を実現する方策

### 【自律】

複数学年複数担任制の実施      学びのサイクル「計画・トライ（テスト）・分析・練習」  
タブレットの効果的な活用      年間を通した体力向上プロジェクト『ムキムキタイム』の実施  
あいさつ・感謝する機会の増加      幼児教育の視点を活かした低学年期のカリキュラム改革

### 【創造】

課題探究を柱とした生活科・総合的な学習の時間  
教科担任制・授業交換による授業改善  
読書活動の推進

### 【つながり力】

『ジャンボタイム』を活用した自治活動  
コミュニティ・スクールによる地域人材活用  
外国語活動の充実 ⇒海外の人との交流  
他者（他学年、地域、海外等）への情報発信

## めざす学校像

- ◆子どもを信じ、決して見捨てない学校
- ◆聴き合い、対話し、学び合いのある学校
- ◆「自信」「考える力」を育てる学校
- ◆家庭・地域から信頼される学校

## めざす教師像

- ☆子どもに寄り添い切れる教師
- ☆子どもに確かな力をつけるために、指導力を高め、協働できる教師
- ☆家庭や地域の声に耳を傾け、連携して教育課題の改善に努める教師

## 学びを楽しむ三つの場

### ○仕事を楽しむ職員室

- ・「主体的」「協働的」「組織的」を大切にし、働く喜びを感じられる職員組織
- ・ワークライフバランスを大切にする意識改革

### ○学習を楽しむ教室

- ・「学校が楽しい」「授業がおもしろい」と言える児童の増加
- ・自分の良さが認められる教室の実現

### ○子育て・教育を楽しむ家庭と地域

- ・学校に興味を持ち、参画する地域住民の増加  
⇒HP やメールによる情報発信とCSの活用
- ・地域行事との積極的な連携

## 本校の実態

	学校内評価
職員の 実態	○新しいことにチャレンジできる。 ○職員室での会話が活発で、チームワークがある。 ○互いの得意を發揮できる。
児童の 実態	○人懐っこく、親しみやすい。 ○自分で判断する子が増えている。 ●困難なことがあると避けようとする。 ●体調不良を訴える児童が多い。 ●基礎学力が不足し、学力差も大きい。

	児童アンケート	保護者アンケート
自律する子	○「自分で考えて行動している」低 91%⇒87% 高 86%⇒91% ○「わかることが増えてきた」低 97%⇒96% 高 91%⇒93%	○「家庭で自分からやろうとすることが増えてきた」79%⇒83%
創造する子	○「新しい課題、学習に取り組むときは楽しみだ」 低 83%⇒82% 高 64%⇒74%	●「友だちと学ぶことを楽しんでいる」94%⇒83%
つながれる子	・「進んであいさつをしている」低 84%⇒82% 高 87%⇒87% ○「自分にはよいところがある」低 85%⇒90% 高 81%⇒82% ○相手の気持ちを考えた行動、声かけ、言葉づかいができる」 低 81%⇒84% 高 85%⇒89%	●「家でも、学校でも、地域でもよく挨拶をしている」70%⇒65% ●「友達を大切にする気持ちが育ってきている」97%⇒88%

数値は、左側に前年度2学期調査結果、右側に本年度2学期調査結果を示している。